

Ryu's Paper

リュウズ ペーパー

龍華図書館

2024年7月1日

7月号(隔月発行)

Vol.41

今年もはや半年が過ぎましたが、いかがお過ごしでしょうか。暑い日が続いていますので、水分補給や体調管理には気をつけて、もう半年を乗り切りましょう。さて今回の『図書館でめぐる郷土～八尾市史編～』のテーマは『学校建築』です。八尾市の学校建築の歴史や特徴的な形の校舎はご存知でしょうか。また、明治時代の子どもたちは何を学んでいたのでしょうか。一緒に見てみましょう。

シリーズ
図書館でめぐる郷土
～八尾市史編～

第四十一回

『学校建築』

明治初期から昭和期に至るまでの学校建築の歩みを見ると、三つの時代的特色が挙げられます。一つ目は明治期の公立学校の伝統的和風建築、あるいは洋風建築を導入したものです。例えば、龍華尋常小学校は入母屋造、寄棟屋根の建築が棟を連ねる豪壮な和風建築でつくられた一方、八尾尋常高等小学校の校舎は洋風下見板張り、上下式窓を用いる洋風建築でした。当時の学校建築は、それぞれの地域の誇り、熱意、そして資力の表現でもあったと言われており、和洋さまざまな建築表現により、新しい時代の教育に向かう意欲が表明されていたともいえる建築でした。

二つ目は、昭和初期の耐震構造を目指した木造二階建て校舎建築です。日本瓦葺切妻造に洋風モダンな表現を加えたもので、昭和7(1932)年に建て替えられた龍華尋常高等小学校新校舎や昭和8(1933)年の小阪合尋常小学校(現山本小学校)、そして昭和11(1936)年に建った八尾第一尋常高等小学校(現八尾小学校)などがあります。龍華尋常高等小学校や八尾第一尋常高等小学校には、講堂・校舎間の中庭を通した渡り廊下等で、東西に長大な二棟木造校舎を結ぶなどの共通点がありました。当時発展期にあった大阪で用いられていた鉄筋コンクリート造校舎の導入には至らないものの、有力な建築事務所によって木造での耐震化や良質でモダンな設計がされていました。

三つ目は、昭和30(1955)年前後に登場した円形校舎です。円形校舎は必要な建築資材が少なく、総工費が安いことや、敷地面積が小さくて済むことから全国的に数多く建てられました。八尾市では昭和32(1957)年に南山本小学校で2階建て、翌年に曙川中学校で4階建ての円形校舎が続いて建設されました(右下写真)。のちに曙川中学校は平成24(2012)年、南山本小学校は平成26(2014)年にそれぞれ解体されましたが、南山本小学校は改築工事を行う際、象徴的な円形校舎の面影を残して設計されました。学生数の増加に応じて新校地に新築移転する学校もあり、昭和50(1975)年頃には、おおむね木造校舎から鉄筋コンクリート造校舎への転換が行われていました。

では最後に、明治期の子どもたちの様子を見てみましょう。明治5(1872)年8月の学制の公布により、学校教育制度が採り入れられました。しかし、当時は子どもたちに農作業や家事、子守りなどを手伝わせていたため、明治11(1878)年から12(1879)年頃に八尾の小学校に通う児童は本来の40～50%で、とくに女子は少なく、多くの子どもたちが学校にこられるようになったのは明治の終わり頃になってからだったようです。明治19(1886)年の大阪府小学校規則では、尋常小学校が「修身(道徳)・読書・作文・習字・算数・体操」の6学科、高等小学校はそこに「地理・歴史・理科・図画・唱歌・裁縫(女子)」を加えた12学科を学んでいました。

建物や教育制度の歴史を感じながら、八尾市を散策してみたいはいかがでしょうか。

参考資料

『物語 八尾の歴史』2015年3月 八尾市教育委員会生涯学習部文化財課史編纂室/編

『八尾の建築案内』2018年10月 NPO法人八尾すまいまちづくり研究会(まち研)

『新版八尾市史 建造物編』2023年3月 市史編纂委員会/編

八尾市ホームページ <https://www.city.yao.osaka.jp/0000037580.html> (2024年6月21日確認)

【写真】曙川中学校円形校舎

『新版八尾市史 建造物編』より



7月のTopics & Information



-Topics

電子図書館なら

人気のあの本、予約ナシで読み放題！

夏休みの読書に電子図書館の読み放題はいかがですか？電子図書館は電子書籍を借りて読むことができるサービスですが、読み放題パックの中に入っているものは貸出せずに読むことができますので、冊数の制限なく利用できます。また同時アクセスも可能なため予約待ちをする必要がありません。角川つばさ文庫や集英社みらい文庫、どっちが強い!?シリーズ(KADOKAWA)など、人気の児童書がいつでも好きな時に読めます。是非、ご利用ください。

★おすすめ本★



『どっちが強い!?X』シリーズ
超進化した恐竜たちと大バトル！
「どっちが強い!?」と「恐竜キングダム」の2シリーズがクロスオーバーした学習まんが。空想生物たちとのスリリングなバトルを読み進めるうちに、自然と科学知識が身につく。
(TRCMARC より)



【八尾電子図書館 URL】

<https://www.d-library.jp/yao/g0101/top/>

★ご利用のしかた★

- ① 八尾市電子図書館サイトにログインし、『読み放題』のタブを選択します。



- ② 読みたい本の「読む」ボタンをクリックすると、すぐに読めます。



-Information

期間限定 15冊貸出できます！

以下の期間、本と雑誌を合わせて15冊まで借りることができます。

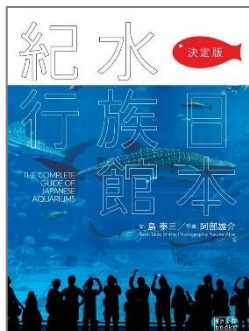
対象期間：6月28日(金)～8月28日(水)

※CD3点、DVD1点は変わりません。

※広域利用の方は対象外です。

是非、ご利用ください。

今月の一冊はコレ！



『決定版 日本水族館紀行』

(資料コード：710348772)

文：島泰三・写真：阿部雄介／発行所：木楽舎



この本では全国各地の水族館が63館紹介されています。文章を書いている島泰三さんは動物行動学者です。それぞれの水族館の特色のほか、飼育されている生き物たちについても平易な文章で丁寧に解説されていて、生き物の生態を活かして見ごたえのある展示になるよう考えられた水族館の工夫が伝わります。また写真に写る動物のいきいきした姿も楽しく、水槽の青色が目にも涼やかな一冊です。

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね！してください。

